

微生物でエネルギー回収

入社後、最初の業務は、家庭用燃料電池のシステム開発である。燃料電池に関する修士論文を書いたものの、実際の開発は想像と全く違うものだった。新たに材料や電気工学の知識を一つ一つ身につけた。それらは一緒に仕事をしていた社外の技術者達から学んだ。ヨロヨロの新人社員をよく受け入れて頂いたと思うが、初心者として一から勉強します、自力でできるところでは最善を尽くします、という態度が良かったのだろう。何を話しているのかわからない

凛としていきる

理系女性の挑戦



新しい研究分野を知る喜び

野の仕事だけしたいと理解が進み発言できるようになったことが、当時のささやかな喜びだった。

学生や若手の研究者と話をすると、この分野を、伝えたいと思う。初心者として臨むことは怖くない。

柔軟性？を見込まれたわけではないが、その後、水素製造装置の開発を経て、異動した先で、

新しい分野への挑戦？会社仲間と初カーリング

提だから引き戻し、目的の確認を行いながら仕事を進めたことも忘れがたい。今では、ノーベル賞を受賞された大村智先生の報道を見ながら、「微生物の採取やスクリーニングは大変なんだよ」と家族に知ったかぶりを披露している。

これからどれだけ新しい仕事に巡り合えるのか楽しみだ。今までと大きく違うのは、自分と子供がいることである。新しい分野に挑戦する時は、スタートダッシュで少しだけ集中する期間が必要だ。

そのバランスをどうしようとするのか。幸い先達がたくさんいる会社

なので、何かあったらランチに誘って相談に乗ってもらおうと考えている。

企画協力・日本女性技術者フォーラム（JWF）  
（火曜日に掲載）

東京ガス 基盤技術部 エネルギーシステム研究所 環境システムチームリーダー  
大坂典子



＜プロフィール＞01年 東大院新領域創成科学研究科修士、東京ガス入社。現在バイオマス利用技術開発に従事。